

難聴者用のバッジ統一を

難聴で日ごろ不自由のため、日常の会話や病院などの呼び込みのとき、相手側や周囲の方々にも迷惑をかけております。

難聴者用のマークの首掛け（バッジ）統一できれば、難聴者であることが社会の方々に見分けていただけ、一般の方々も対応していただけると思います。

（長谷川さん・中野方町）

答 難聴の方のご不自由なことは、市としても理解しています。

市から難聴者であることの分かるマーク（バッジなど）を独自にデザインし、普及・配布しても、市内だけで認知されるだけでは効果が少ないと考えています。

難聴者の方の全国組織で、社団法人全日本難聴者・中途失聴者団

体連合会（TEL 03-3225-5600、FAX 03-3354-0046）では、耳のシンボルマークを作成して、全国レベルで普及をしています。個人での購入となりますが、その利用をご検討されるようお願いします。なお市役所の窓口では難聴の方が不自由なことを理解して、できるだけ大きな声でご説明するなどの対応に心掛けるよう努めていきます。

（社会福祉課）

予算付かず運動会中止？

明智町では、毎年11月上旬に行われていた町民運動会が、予算が付かないとの理由で中止になったそうです。

（17年度市政モニター）

答 本年度の明智町民運動会は中止となりましたが、それは補助金が多かったためです。

は中止となりましたが、それは補助金が多かったためです。補助金は前年同様に確保されていましたが、以下の経緯で中止となりましたことをご理解ください。

明智町民運動会は町民が一堂に会する町最大のイベントであり、毎年多くの町民の参加で開催され

ていました。しかし明智町の地区体育委員、体育協会、体育指導委員などが中心となり選手集めから競技運営に努力してきましたが、特に人集めが大変困難ということ、町の中では運動会をこのまま続けるのか、中止するのかなど意見は賛否両論でした。

そういった時代背景の中で、本年度も運動会開催について検討してきましたが、前記団体で編成された実行委員会により、運動会中止の意見が大勢を占め、本年度の明智町民運動会は中止ということと決定されました。

これはあくまでも実行委員会の役員が決めたことであって、町民の意思がそのまま反映しているかというところではありません。そこで町民運動会の中止の報告を兼ねて町民へ対してアンケートを実施しました。次年度につなげるためにも今の明智町のニーズを把握し、今までは違った運動会に代わる町民交流イベントを行うのか、また母体を現在設立準備中である「あけちクラブ」で行っていくのかなどを視野に入れて、今後の町民運動会を検討していきたいと考えています。

（明智振興事務所教育課）

バス小さくして本数増やしてほしい

恵那峡線のバスを利用しています。最終バスの時間が早いです。上矢作町のバスのように小さくして、本数を増やすことはできないでしょうか。

（17年度市政モニター）

答 現在、市では大きく分けて2種類のバスが走っています。1つは東濃鉄道（株）が運行している営業路線バス。もう1つは市が東濃鉄道（株）に委託をして運行している自主運行バスです。

後者である自主運行バスは市で時刻表の設定は可能ですが、恵那峡線（蛭川線含む）は前者に当たり、市では運行体系に関与していません。ただまとまった要望があれば、東濃鉄道（株）に働き掛けをすることは可能かと思えます。

バスの大きさについては、朝夕の通勤通学など大人数の輸送に対応できるよう、大きいバスで運行しています。

本数については現在の需要をみて設定されていますので、ご理解をお願いします。

（商工観光課）

ちょっと一言インタビュー

今回は、市内6会場で1月8日に成人式を迎えた新成人8人の皆さんに二十歳になった感想や将来への夢・目標などについて、ちょっと一言インタビューをしてみました。（五十音順）



“人生勢い！”で
春日井 絵理さん
（山岡町原）
二十歳になってもまだまだ自分は子どもだと思いますが徐々に大人になっていこうと思います。“人生勢い！”今やりたいことを正直かつ冷静に夢に向かってつき進んでいきたい。



将来は声楽関係の仕事に
栗田 和音さん
（大井町西舟橋）
二十歳という自分の自覚以上に周囲から大人として見られるので、責任と時間の大切さを感じます。大学で声楽を学んでいるので、将来はそれに関した仕事したいと思います。



仕事でも笑顔を忘れずに
小木曾 美穂子さん
（上矢作町小田子）
二十歳になり大人の仲間入りという事で、いろんな面で責任の持てる自分に、また仕事の面では「笑顔を忘れずに」をモットーに頑張っていきます。



町の将来を担える大人に
西村 香里さん
（岩村町）
二十歳という節目を迎え今まで育ててくれた両親などへの感謝の気持ちを忘れず社会に貢献できるように、生まれ育った大好きな岩村町の将来を担える立派な大人になりたいです。



責任を持って行動を
半 智奈さん
（明智町新井）
二十歳になったので、何事にも責任を持って行動したいと思います。将来は、社会の役に立つような人になりたいと思います。



スポーツを続けていきたい
古田 祐也さん
（三郷町野井）
二十歳になり1年間が早く感じるようになった。仕事など自分の行動に責任を持ち、後悔しないような人生を送りたい。スポーツを一生続けていきたい。



将来は声楽の演奏家に
箕浦 結花さん
（串原木根）
二十歳になり常識ある大人になりたい。大学卒業後のための資格取得や語学を身に付け、声楽を学んでいるので、留学して本場の音楽に触れ、将来は演奏を仕事にしたい。



いろんな事に挑戦を
度会 広嗣さん
（三郷町棕実）
人と人との出会いを大切にし、成人として何事に対しても責任を持ち、どんなことにもくじけず常に前向き志向でいきたい。これからはいろんな事に挑戦していきたいと思います。